

浅川地区住民自治協議会だより



せせらぎ

みんなで創る 元気な浅川！

第 91 号

発行日 令和 5 年 3 月 31 日

発行人 金井 明 靖

TEL・FAX 026-244-5165

第 9 回浅川地区住民福祉大会開催される！

2月12日（日）浅川公民館大会議室において「浅川地区住民福祉大会」が開催され、約40名のみなさんが出席しました。

大会では第1部の式典で地域福祉活動功労者として福祉輸送や家事援助協力会員として長年ご尽力いただいた下島義二さん（屋敷田）と原美代子さん（浅川西条・当日は欠席）に感謝状が贈呈されました。

第2部の記念講演では「みんなで知る・みんなでつながる地域づくり～ヤングケアラー支援を通じて～」と題してスクールソーシャルワーカーの宮崎貞子さんの講演が行われました。

スクールソーシャルワーカー（SSW）は学校や地域、家庭や友人関係の中で困窮や悩みを抱える子ども達と共に考えながら、少しでも安心して生活をできる手立てを見つけるお手伝いをする福祉の専門家で、北信教育事務所では8名のSSWが活動しています。



【地域福祉功労表彰を受けた下島義二さん】



【各団体の活動発表を掲示】



【宮崎貞子さんの講演】



【会場の様子】

長野県でも児童生徒数が激減する一方、不登校や虐待が増加している現状が報告され、SSWとして対応した事例を掲げながら、子ども達の発するSOSへの“気づき”と“想像力”とそれを必要なところ（支援）につなぐ“発信力”が重要であることが強調されました。私達がニュース報道などで聞いてはいても、想像

以上に深刻な状況にある家庭とそこでの子ども達（ヤングケアラー）の現実に息を飲む思いがしました。そして地域住民による緩やかな見守り（共生社会）＝孤立を生まない、排除しない地域づくりが極めて大切なことだという認識を深めました。

<講演を聴いて>

「学校に通いながら、あるいは学校に行けない中、家族や親戚のお世話をしているヤングケアラーという子供」を支援するスクールソーシャルワーカー（SSW）の活動を初めて知りました。SSWの尊い仕事が報われ、そうした子供たちのいる家庭が助け合い協力して自立できるよう願っています。現代社会の抱える問題を改めて考えさせられた講演でした。

（浅川社会福祉協議会副会長 清水京子）

※ヤングケアラーとは：大人に代わり家族を支える（ケアする）子どもや若者たちのこと

（福祉健康部会・浅川社会福祉協議会）

浅川地区男女共同参画推進講演会開催される

2月19日（日）公民館冬期学級「浅川地区男女共同参画推進講演会」が開催され、長野県立大学グローバルマネジメント学科長築山秀夫教授の「地域社会における男女共同参画～なぜ、男女共同参画を進める必要があるのか？」と題する講演が行われました。



【講演する築山教授と会場の様子】

1999年に男女共同参画社会基本法が施行されてから23年間、遅々として進まない日本の現状～男女格差を凶るジェンダーギャップ指数は156カ国中120位、国政における女性議員の割合は186カ国中166位、また政権幹部・保守派が女性蔑視・LGBTQ等への蔑視発言を繰り返す異常な状況～を痛烈に批判しました。そして男女共同参画を実現する主体は国でもなく県でもなく市町村からあるいはもっと身近なコミュニティから意思決定の場に女性を登用していくことからしか始まらないと強調されました。

ちなみに長野市人権・男女共同参画課が毎年実施する「住民自治協議会最高議決機関への女性参画状況調査」では、令和4年度の女性参画率が全32地区平均で15.8%（浅川地区：19.6%と目標とする30%には遠く及ばない状況となっており、女性参画の必要性が叫ばれている中で未だ多くの課題が残されています。

（総務環境部会・浅川地区人権啓発委員会）

「浅川地区更生保護女性会」10周年研修会開かれる

「更生保護女性会」は犯罪や非行をした人が地域社会で立ち直れるよう支援する更生保護事業に協力をし、犯罪や非行のない明るい社会を実現しようとするボランティア団体です。

浅川地区では保護司（当時）の原田基典さんの尽力で2013（平成25）年7月に「浅川地区更生保護女性会」が設立されました。現在、浅川地区女性会（会長：藤澤浦子さん）の会員は37名、長野地区では1,000人余りの会員が活動しています。



【原田恵美子さんに感謝状贈呈】



【体験談を語る保護司の皆さん】

今年は設立10周年という節目の年にあたり1月28日（土）に記念研修会を開催しました。研修会では元会長の原田恵美子さんに関東地方更生保護委員会から感謝状が贈られた後、研修会として「保護司会との交流」が行われ、保護司の堀宏幸さん、小宮山義光さんから活動体験のお話がありました。また原田基典さんからは浅川地区女性会設立に至る経緯が説明されました。

研修の後、らくらく亭いとしさんとタイ楽さんの落語を鑑賞しました。



【研修会の様子】

（福祉健康部会・浅川地区更生保護女性会）

浅川ダム周辺利活用懇談会開催される

2月8日（水）「浅川ダム周辺利活用懇談会」が開かれ、今年度の活動経過の報告と次年度の事業内容の検討を行いました。同会は浅川ダムの竣工を機に浅川ダム利活用とその周辺の環境整備を行うことを目的に県・市・住民自治協議会で設立（事務局：浅川改良事務所）され、住民自治協議会役員とそのOB、関係団体有志がメンバーとなっています。これまでダム展望広場の草刈り・清掃や浅川ダム祭りでの農産物直売、河川敷の整備・植栽（フジバカマ苑整備など）を行ってきました。



【懇談会の様子】



【浅川ダム天端の鯉のぼり（2019年）】

会議ではコロナ禍のため休止をしていたダム天端への鯉のぼり掲揚を3年ぶりに実施すること、また新しい試みとしてダム天端のイルミネーション飾りやダム壁へのプロジェクトマッピングなどのアイディアが出されました。



【フジバカマ苑とアサギマダラ】

なお1月18日にはインドネシアの国家公務員が浅川ダムに視察に訪れました。災害の多い同国において防災面から「流水型ダム」を推進していきたいということで、2月には浅川改良事務所の職員がインドネシアを訪れ講演を行う予定とのことです。

ゴマシジミの保護育成活動の発表を行いました！



～令和4年度 ながの環境パートナーシップ会議公開学習会～

ながの環境パートナーシップ会議は長野市環境保全温暖対策課内に事務局を置き環境活動に取り組む各団体が交流する場として、市民が活動発表できるイベント等を開催しています。

2月26日（日）長野市ふれあい福祉センターで同会議主催の公開学習会が行われ、浅川地区住民自治協議会から地域活性化推進員の下村守昭さんがゴマシジミの保護育成活動について



【事例発表をする下村さん】



【発表後のディスカッション】

報告を行いました。

今回の学習会では「パートナーシップで環境活動することについて共に考えよう！」という趣旨で企業・団体からの事例発表・活動報告・意見交換会が行われました。



【保護監視パトロール】



【ワレモコウとゴマシジミ】

★冬よるいだの鎧田（北郷）の夜空に“花火”が上がった！



【“かまくら”に明かりが灯り、鎧田が幻想的に浮かび上がりました】

【真冬の里に花火が上がりました！】

“コロナを吹き飛ばせ！”と3年前から始まった北郷区有志による花火が今年も打ち上げられました。

2月12日（日）「鎧田で花火を上げよう会」（代表：松木栄さん）に「ひまわり会」が協賛して行われた花火の打ち上げ。新型コロナウイルスの終息が見通せない中で“今年こそは、悪霊＝コロナ退散”を願って3回目となる花火会が行われました。

鎧田には“かまくら”が作られキャンドルが灯り、真冬の空に花火が美しく映えました。花火を見上げたみなさんの願いと思いはきっと通じたことでしょう。

浅川小学校コミュニティスクール運営委員会開かれる

2月9日（木）今年度第2回の委員会が浅川小学校において開かれました。この委員会は「地域と共にある学校づくり」を目的に、学校と地域の諸団体、ボランティア活動組織が連携して、学校活動を支援するために平成27年度から始められたものです。



会議では学校からコミュニティスクールにおける地域との連携として、あいさつ運動、紙芝居、異国文化体験、じゃがいも収穫体験、しいたけコマ打ち体験、ゴマシジミ保護活動、自転車クラブ、浅川チャレンジなど、コロナ禍の中でも積極的な活動が行われたことへの感謝が述べられました。

また山本教頭先生から卒業式はマスクを外して行うこと、来年度の入学予定者は32名で1クラスになること、2学期以降に校舎の改修が始まる（5年度：北校舎、6年度：南校舎・昇降口）ため仮校舎での授業となることなどの報告がありました。

監査監事をご紹介します！



【(左)吉澤恵治さん (右)小山由美さん】

住民自治協議会では監事2名を選任し、会の活動及び会計業務の執行状況について監査を受け、会務の適正な執行に務めています。

現在、監事を務めて頂いているのは吉澤恵治さん（浅川押田）と小山由美さん（浅川西条）のお二人で、4半期及び事業



【ある日の監査風景】

実施の都度監査を行って頂いています。

監査の対象になるのは住民自治協議会の一般会計（各4半期及び決算）、社会福祉協議会の3つの特別会計（福祉自動車事業・友愛活動事業・資源回収事業）、地区公民館連合会の2つの特別会計（市民運動会事業・ゆうわ祭事業）及び中山間地域輸送システム特別会計とやまざと支援交付金特別会計及び4つの基金と多岐に涉っており、大変ご苦勞を頂いております。お二人の監事さんのご紹介をするとともに日頃のご苦勞に感謝を申し上げます。

<監査を通して>

浅川地区住民自治協議会の監事になって2年目になります。

当協議会の会計監査を行って感じることは、月次における業務が的確に行われ、その業務のチェックが確実に実施されていることです。様々な事業や活動を担っている皆さんに敬意を表します。

監査を通してそのチェック機能を効果的に発揮し、煩雑な会計業務とその実態の整合性を確実なものにして常に確認することが大切であると考えています。

住民自治協議会活動及び監事の仕事に改めてご理解とご協力をお願いします。

監事 吉澤 恵 治（神楽橋）

長野市住民自治連絡協議会理事会開催 ～32地区住自協一堂に会して～



【荻原市長があいさつ】

第38回住民自治連絡協議会が2月13日（月）市役所第二庁舎10階講堂で開かれました。コロナ感染拡大防止のためブロック単位の開催や書面表決が続く中で、市内32地区の住自協会長・事務局長が一堂に会しての開催は5月以来2回目です。

会議では放課後子ども総合プランの運営主体が市社会福祉協議会から令和6年度に「ながのこども財団」に移行すること、市民会議の再構築として市長が全地区を訪問する「地区懇話会」を行うことなどの提案がなされました。

各地区会長等からは、特に放課後子ども総合プランの見直しについて、実施に当たって職員や保護者への丁寧な説明を求める意見が強く出されました。市側の説明の曖昧さやわかりにくさの一方、住自協役員側の認識不足もあり議論がすれ違うことが多いと感じられました。

都市内分権方針に基づき住自協が発足して十年余、発足の原点に立ち戻り行政と地域双方が住民自治に関わる考え方や意識、それを担う組織のあり方について率直に議論し見直しを行うことが必要な時期に来ているように思われました。



【会議の様子】

共に生きる



2/20(月)・2/21(火) 浅川公民館/大会議室

おひとり暮らしの年齢の方を対象に開催していた『ふれあい会食会』は、感染症予防の観点から今年度は会食を行わず、対面に分散するなど工夫をし、『ふれあいのつどい』として実施しました。

両日とも『健康講座』として、北部保健センター、地域包括支援センター・博愛の園より講師をお招きし、講話をしていただきました。

また、『行ったつもり旅行』と題して、信濃の国の曲に合わせて長野県内各地の名所を巡る動画を観ていただきました。途中に出題された〇×クイズには、皆さん和やかに談笑しながら解答されていました。知っているつもりでも長野県の魅力を再発見する機会になっていただけただけなら幸いです。

お帰りの際にはお土産の軽食もお持ちいただき、ささやかではありますが、楽しいひとときを過ごすことができました。

冬期学級

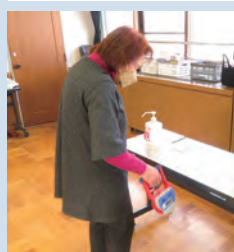
『はつらつ体操お試し講座』

令和5年1月21日(土)

浅川公民館/大会議室

- 握力測定・脚力測定
- 認知症予防のための講話
- はつらつ体操

令和4年度第5回浅川冬期学級では浅川公民館・赤十字奉仕団浅川分団・浅川社協の共催で、『はつらつ体操お試し講座』を実施しました。寒い中、大勢の方にお集りいただき、講師のお話に耳を傾けながら、皆さん熱心に取り組んでおられました。ご家庭でもぜひ実践し、元気に春を迎えましょう！



令和4年度は浅川地区内外から年間のべ21組の親子にご参加いただきました。次年度も子育て世代の身近な交流の場として活動してまいります。



【住自協会長より
感謝状の贈呈】



福 祉
大 会

2月12日(日)に第9回浅川地区住民福祉大会を開催しました。第1部は地域福祉活動功労者の皆様に対する感謝状贈呈式を行い、第2部では『みんなで知る・みんなでつながる地域づくり』と題して、スクールソーシャルワーカーの宮崎貞子氏にご講演いただきました。また、浅川社協を含む浅川地区住民自治協議会・福祉健康部会6団体による日頃の活動紹介の掲示も行われました。

今後も団体間で連携を強化しながら、浅川地区の地域福祉の増進に努めてまいります。



【講演の様子】

令和4年度活動報告

新型コロナウイルスの事態の収束がなかなか見えない中、浅川社会福祉協議会では「できることを、工夫して」を合言葉に活動を行ってまいりましたが、無事に本年度の全事業を終えることができました。

各方面で多大なるご協力をいただき、深く感謝申し上げます。引き続き、お力添えをよろしくお願いいたします。

浅川にワインの風を！～冬のブドウ畑～

【地域おこしの現場から vol. 5】

昨年10月の初収穫から4ヶ月が過ぎました。委託先でのワイン醸造は順調に進み、3月末に瓶詰め、瓶内でしばらく寝かせて今秋以降に念願のお披露目を予定しています。

1月から畑に戻り徐々に剪定作業を開始しました。

収穫前の慌ただしさとは打って変わって沈黙と静寂の時間。樹の生育具合や状態、樹勢を見極めながら今年の収穫を想像し作業を進めています。昨年まだ実を付けなかった品種たちも今年は実を付けそうな予感がします。



【冬のブドウ畑】



【凍える寒さの早朝に見られる
美しい霜のブドウ枝】



【雪に埋もれたブドウ畑。静かな時間の雪の中で剪定作業が始まっています】



年々、気候が不安定になっていく中、今年どんなシーズンになるか予想つきませんが、昨年の反省を生かして、より高品質なブドウが多く実るよう頑張りたいと思います。引き続き浅川の皆様のご声援をよろしくお願いいたします。

宋 裕光

(元地域おこし協力隊員・伺去)

お知らせ

2023（令和5）年度 浅川地区住民自治協議会総会を開催いたします。

日時 2023年4月15日（土） 午後2時～4時

場所 浅川公民館2階 大会議室

☆新型コロナウイルス感染防止のため、評議委員による総会といたします。

※出席対象者：常任評議委員・区長・構成団体長・顧問

*ご不明の点は、住民自治協議会事務局（TEL：244-5165）にお問合せ下さい。

広報委員から

～一年を振り返って～

皆様のおかげで無事一年間広報委員長を務めさせていただきました。ありがとうございました。今年度はコロナ感染防止を図りながら地域の行事が徐々に再開され、それらの様子を地域の皆様にお伝えすることができました。それらの行事を通じて皆様が多様な活動をされていることを知ることができたのは、広報委員を務めさせていただいたおかげと思っています。本当にありがとうございました。

広報委員長 小林 栄子（教育文化部会・地公連総括）

浅川地区白バラ会長の拝野です。一年間お世話になりました。

「せせらぎ」の広報委員に選出され、何のお役に立てたのかも分かりませんが、委員の皆様と楽しく活動させていただきました。色々な経験をさせてもらい、貴重な一年となりました。ありがとうございました。

広報委員 拝野美由紀（総務環境部会・白バラ会会長）

広報委員としては一年を通して浅川地区の様々な活動を知ることが出来とても良い勉強をさせて頂きました。また赤十字奉仕団の委員長として浅川地区防災訓練の炊出しに参加したり、社会福祉協議会の皆さんと様々な催しに関わらせて頂きとてもよい経験をさせて頂きました。何かと知らない点もあったかと思いますが、皆さんにご協力頂き何とか一年間過ごす事が出来ました。本当にありがとうございました。

広報委員 井上 里美
（福祉健康部会・
赤十字奉仕団分団長）



【広報委員のみなさん（前列左から小林委員・小林委員長・井上委員、後列左から竹元委員・鶴田委員、拝野委員）】

広報委員及び育成会長を経験させて頂いたことで浅川地区の仕組みや支え愛の歴史を肌で感じることができました。沢山の方々がこの浅川を支えて下さっていることに感謝し、私も少しずつ恩返しができるよう精進していきたいと思っております。一年間ありがとうございました。

広報委員 小林 緑子
（次世代育成部会・
育成会長）

今年度最後の広報委員会が2月21日にありました。「せせらぎ」第91号の編集及び掲載記事の検討でした。

浅川地区住民自治協議会だより「せせらぎ」の内容を見れば浅川地区でどのような団体が今どんな活動をしているのか本当に詳しく紹介されています。この活動に委員の皆さんと携われて楽しかったです。一年間お世話になりました。

広報委員 竹元 数由（安全防災部会・消防団分団長）

令和4年度広報委員として一年間お世話になりました。猟友会の活動では、今年は雪が少ないため鹿による被害は少なかったのですが、前年度より猪が多いと感じています。猟友会の会員が捕獲する数はそれほど多くはありませんし、他の地区から入ってくる獣がいるのでなかなか被害は減りません。浅川地区のみなさんも猟銃のライセンスを取る方が一人でも増えて、有害鳥獣を一頭でも少なくして安心して住める地区にしたいと思っています。

広報委員 鶴田 敏光
（産業振興部会・猟友会浅川支部長）